

国連女性機関・国連アジア太平洋経済社会委員会主催

アジア太平洋地域「国際女性デー」記念イベント

森総理補佐官ステートメント

令和 4 年 3 月 8 日

御列席の皆様

国際女性の日にあたり、女性活躍担当内閣総理大臣補佐官として、参加できますことを大変光栄に思います。

気候変動は、地球規模の安全保障と経済の繁栄に脅威をもたらす、最も深刻な課題の一つです。気候変動に起因する災害も増加しているところ、未然に備え、発生を見越した対応策を検討することが肝要です。とりわけ、アジア太平洋地域は世界人口の約 6 割が集中する、自然災害が頻発する地域です。気候変動が自然災害にもたらす影響と地域の社会経済的な脆弱性の関連性を分析し、考察する必要があります。

この関連で日本は、気候変動の課題に対処するあらゆるレベルの意思決定のプロセスに、女性の参画を確保することが必要と考えています。そのため、2016 年度より UNITAR（ユニタール）を通じて、太平洋の島嶼国を対象とする津波防災に関する女性のリーダーシップ研修を実施し、海面上昇により被害の深刻化が懸念される津波に対する防災能力の強化に取り組んでいます。気候変動により自然災害の被害が増す中、2021 年度からは ESCAP（エスキャップ）を通じ、アジア太平洋地域において、ジェンダーにも配慮した防災政策立案支援も実施しています。

グローバルな課題に対処するためには、自国の利益優先ではなく、人間の安全保障の理念に基づき、他国と協調することが不可欠です。本日のイベントが、各国の好事例や教訓を共有する場となり、国際社会が協働していく大きな一歩となることを期待しています。